

刑事免責決定下で証人尋問が実施された事例

刑事免責決定下で証人尋問が実施された事例（※1）

番号	起訴罪名	判決で認定された犯罪事実の要旨	判決上認められる証人の立場
1	詐欺	被告人が、共犯者と共謀の上、電力会社に対し、原発事故によって生じた風評被害に係る賠償金請求として、虚偽の事故前の売上高等に基づく賠償金を請求し、その支払を受けて現金を詐取した事案。	共犯者
2 (※2)	大麻取締法違反 国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律違反	被告人が、共犯者と共謀の上、営利目的で、大麻を所持・有償譲渡したほか、約2年間、多数回にわたり、多数人に対し、大麻様のものを大麻として有償譲渡し、大麻・大麻様のものの密売を業として行った事案。	参考人
3	詐欺	被告人が、共犯者と共謀の上、弁護士等になりすまして、高齢の被害者に対し、同人が過去に購入した未公開株の会社から返金を受けられる旨欺罔し、現金入りのレターバックを郵送させて現金を詐取した事案。	共犯者
4	邸宅侵入・窃盗未遂 強盗致傷等	被告人が、共犯者と共謀の上、 ① 空き家に侵入して物色行為に及んだが、金品発見に至らなかった ② 路上で被害者に暴行を加え、現金等を強取し、その際、被害者に傷害を負わせた事案等。	①・②の共犯者
5 (※2)	大麻取締法違反 国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律違反	被告人が、 ① 共犯者と共謀の上、営利目的で、大麻を所持・有償譲渡したほか、約2年間、多数回にわたり、多数人に対し、大麻様のものを大麻として有償譲渡し、大麻・大麻様のものの密売を業として行った ② 共犯者と共謀の上、営利の目的で、大麻を栽培した事案等。	①の参考人 ②の共犯者

番号	起訴罪名	判決で認定された犯罪事実の要旨	判決上認められる証人の立場
6	覚醒剤取締法違反	被告人が、 ① 共犯者と共謀の上、営利の目的で、覚醒剤を所持・有償譲渡した ② 覚醒剤を自己使用した 事案。	①の共犯者
7	殺人	被告人が、共犯者と共謀の上、被害者を包丁で刺して殺害した事案。	共犯者
8	傷害致死等	被告人が、幼年の被害者に対して、その顔面をたたいてその後頭部を床に打ち付けさせるなどの暴行を加え、死亡させた事案。	参考人
9	関税法違反	被告人が、共犯者と共謀の上、覚醒剤約15キログラムを隠匿した貨物を本邦に輸入しようとしたが、税関職員に発見され未遂に終わった事案。	共犯者
10	詐欺	被告人が、共犯者と共謀の上、持続化給付金制度を利用して、同給付金の名目で現金を詐取した事案。	共犯者

※1 本資料は、配布資料17記載の刑事免責決定下で証人尋問が実施された事件であって、確定済みのもののうち、刑事免責請求日が直近のものから10件を抽出して作成している。

※2 番号「2」の事案と番号「5」の①の事案は同一であり、異なる被告人について同一の証人の尋問が実施されたもの。